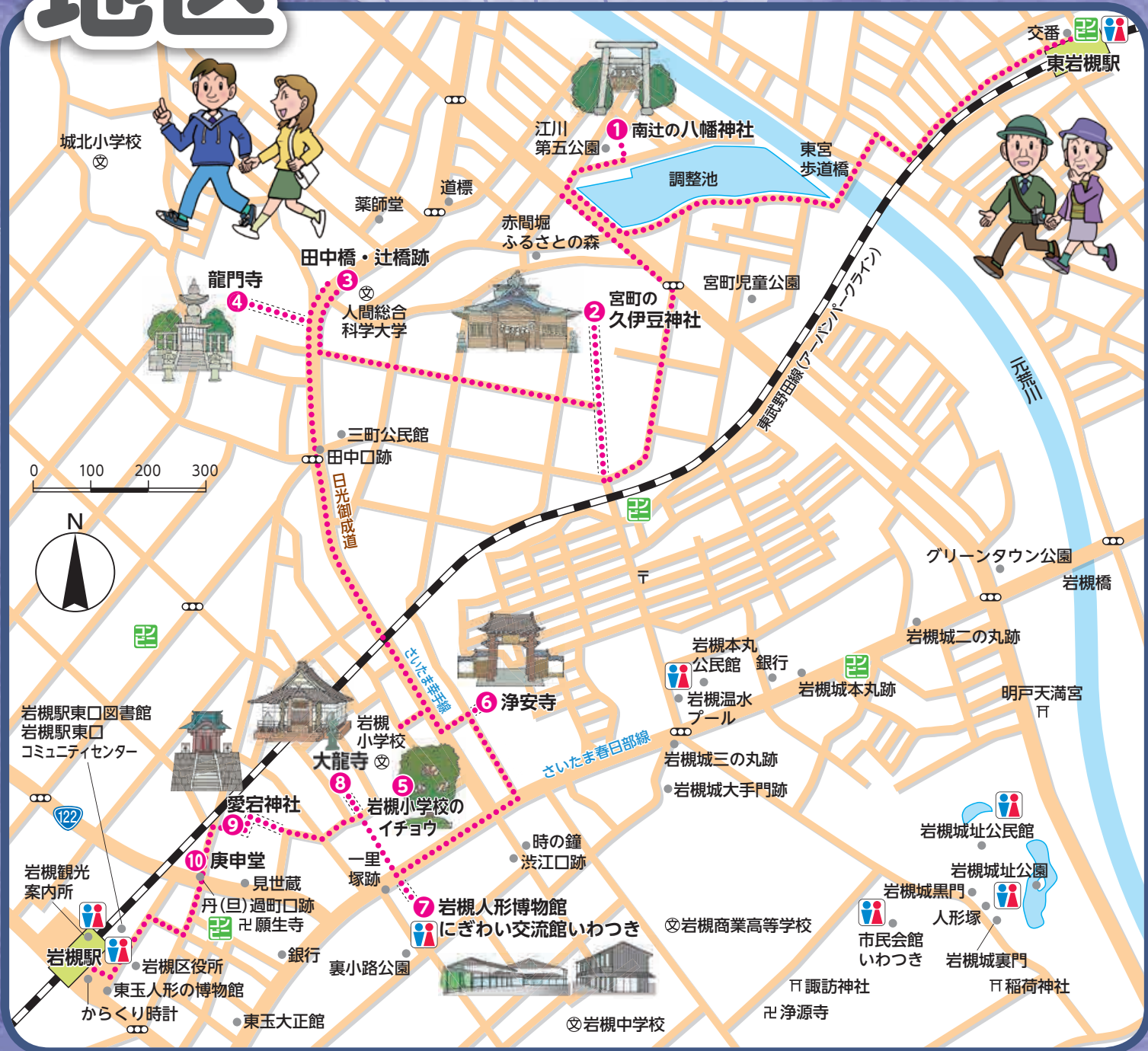


# 南辻地区

Minamitsuji

## 岩槻城総鎮守と藩主ゆかりの寺を歩く

岩槻藩主ゆかりの寺々と、岩槻城総鎮守久伊豆神社を中心に八幡神社、愛宕神社などを訪ねてみませんか。



コース トイレ コンビニ



## ①南辻の八幡神社

祭神は<sup>ほんだわがみこと</sup>響田別命です。

天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原攻めの際、岩槻城攻略の軍勢がこの地で鎧具足を整えてから出陣したといわれているため“鎧宮八幡”とも呼ばれています。

また、この神社には岩槻城落城にまつわる伝説も伝えられています。



## ②宮町の久伊豆神社

祭神は<sup>おこなむちのみこと</sup>大己貴命で、岩槻の総鎮守として城郭の一角、元荒川を背にした新正寺曲輪に祀られています。

6世紀半ばに東国に下った<sup>ほし</sup>土師氏が、出雲の国から<sup>かんじゆう</sup>勧請したのが始まりといわれています。

境内には、昭和13年(1938)に朝香宮から贈られた孔雀の末裔が飼育されています。

6月30日には「夏越しの大祓え」が行われ、毎年10月19日に行われる秋季例大祭には日本三奴の一つといわれている岩槻黒奴も境内を練り歩きます。



## ③田中橋・辻橋跡

日光御成道の元荒川の中洲にかけられていた2つの橋で、日の出町側を田中橋(大橋)、南辻側を辻橋(小橋)と呼んでいました。

橋は大正末期の元荒川の流路変更により、なくなりました。



## ④龍門寺

曹洞宗のお寺で、玉峰山龍門寺といい、釈迦如来を本尊としています。創立は天文19年(1550)佐枝若狭守、開山は<sup>かくふういんそう</sup>格叟寅越和尚と伝えられています。

境内には市の指定文化財となっている山門や、9代將軍徳川家重の側用人だった岩槻藩主大岡忠光の墓があります。

また、国の重要文化財となっている忠光奉納の刀の他、尊王論者で明和事件により処刑された山縣大弐が記した「大岡忠光行状記」など大岡家ゆかりの文化財が多数残されており、埼玉県立歴史と民俗の博物館などに寄託されています。



## ⑤岩槻小学校のイチョウ

岩槻小学校は、明治5年(1872)開校の岩槻区内では創立が一番古い小学校です。

校庭の中央には高さ27m、幹まわり5.08m(指定時)、樹齢約140年といわれている区内で一番大きなイチョウの木があり、市指定文化財となっています。

※正門から見えますので、許可なく校庭内には立ち入らないでください。



## ⑥浄安寺

浄土宗のお寺で、快樂山微妙院浄安寺といい、阿彌陀如来を本尊としています。もとは真言宗であったが、永正2年(1505)増上寺第5世の天誉了聞上人が開山となり、現在の宗派に改めたといわれています。

境内には、岩槻藩初代藩主高力清長、徳川家康の孫徳松丸とその母竹の局、児玉南柯の墓などがあります。



## ⑦岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき

岩槻人形博物館は令和2年(2020)に日本初の公立の人形博物館として開館しました。

人形とそれに関する資料の保存収集と調査研究、展覧会や講座、ワークショップなどの活動を通じて、人形文化の魅力を伝えています。

同敷地内には、岩槻のまちなかに賑わいを生み、交流を促進する拠点となる「にぎわい交流館いわつき」も併設されています。



## ⑧大龍寺

曹洞宗のお寺で、雲居山大龍寺といい、釈迦如来を本尊としています。寺の創立は元和6年(1620)岩槻藩主青山忠俊により開基されました。

昭和29年(1954)本堂が火災により焼失しましたが、平成17年(2005)に再建されています。

山門や本堂には立派な龍が彫刻されています。境内には、岩槻人形の中興の祖といわれている橋本重兵衛の墓があります。また、本堂裏には樹齢約400年の大きなスダジイがあります。



## ⑨愛宕神社(岩槻城大構)

祭神は<sup>かぐつちのみこと</sup>迦具土命で、火防の神といわれています。現在の社殿は関東大震災後に再建されたものです。かつて岩槻は城と城下町が大構といわれる、周囲約8kmに及ぶ土塁と堀に囲まれていました。愛宕神社はこの大構の上に鎮座しています。

大構は昭和30年代にかけて徐々に切り崩され、現在はここ愛宕神社周辺等に名残りを見ることができます。



## ⑩庚申堂

宝永2年(1705)に造立された石造の青面金剛像の庚申塔を祀っています。ここは大構に設けられた丹(旦)過口のすぐ外側になります。

地元では、「丹(旦)過の庚申様」と称し、人々の信仰を集めています。

